

令和8年度 第1回 部門長会議(web) 議事録

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会

日時 令和8年8月6日(木) 19:30~20:30

場所 ZOOM ミーティング

出席者 石田 秀和、森本 剛史、大鹿 均、棚橋 正智、浅野 栄太、林 裕介、
大澤 稜、加藤 洋平、澤田 清矢、大村 将希、中切 健太

欠席者 松岡 涼太、森川 咲子

記録 中切健太

1. 学術部長挨拶、新部門長挨拶

- ・森本会長、石田学術部長、澤田部門長(遺伝子)より挨拶があった。

2. 理事会報告

- ・理事会の議事録はホームページにて確認する。
- ・地区理事から地区代表を選出するようになった。
- ・その他不明点あれば石田学術部長に質問をする。

3. 行事登録・生涯教育について

- ・現状、運営上の大きな問題は発生していない。
- ・病院によっては日当、交通費を受け取らないケースがあるため、講師実務委員には日当と交通費の可否を事前確認する確認。

→対象の先生がいたら申請時のメールに一言添える

4. 拡大研修会、中部圏支部学会、部門研修会について

- ・拡大研修会について

2月12日に飛騨地区担当で開催予定。テーマ「敗血症」

微生物・一般検査部門に講師選定の依頼済み。現在選定中。

講師が決定次第、石田学術部長に連絡

- ・中部圏支部学会について

現状、順調に進行中。各部門は部門企画の準備中

座長や演者への招聘状についての質問があった。

→座長選出締め切後に学会本部にて発行をする予定。

- ・部門研修会について

血液、輸血、一般部門が計画されている。

開催が決まり次第、石田学術部長に随時連絡

中部圏部門研修会の案内が届いたら情報提供を依頼

5. 「臨床検査基礎力強化セミナー」報告

- ・アンケート結果については、どの部門も「わかりにくい」の回答も少なく、良好な結果であった。

3～5年目、5～10年目の参加者も増えていたことがよかった。

- ・今年度より名称を「新人サポート研修会」から「臨床検査基礎力強化セミナー」に変更をした。名称変更を含めて意見を募った。

→名称については「臨床検査基礎力強化セミナー」を継続。内容や開催方法（オンデマンド方式など）については継続的なブラッシュアップをしていけるとよい。

6. 令和8年度 検査と健康展について

- ・中部県支部学会と同時に開催予定。各部門に運営できるのかの確認をおこなった。

- ・一部部門（微生物・病理）においてスタッフ不足や部門企画との時間の兼ね合いが懸念された。

→学生＋実務員を活用して行う。森本会長より必要人数を部門で取りまとめ報告すればスタッフ募集人数を増やすことが提案された。

6. その他

- ・今年度も学術誌を作成予定のため各部門長に査読などについてお願いをした。

・部門員募集の課題

病理、生化学、遺伝子、総合、一般、生理の各部門で部門員確保が困難となっている。

Google フォームの活用は1名のみ。直接の声掛けが難しいなどの現状で当たった。

→今後の対応としては、全体メールの活用や魅力的なチラシ（部門員経験者の声を乗せるなど）、部門員は参加しやすいというPR活動を行い、岐臨技は部門員を募集しているということをアピールしていく。

・部門長、部門員への委任状の発行について

森本会長より、部門長、部門員への委任状の発行の提案があった。

→部門長については委任状を作成する。部門員については、各部門長が意見を聴取し必要であれば意見を上げる。

・ホームページのリニューアルについて

現在のホームページは通信の保護や、スマホ表示に対応していないなどの問題がある。石田学術部長よりM3を活用した学術のページの作成の提案があった。

→広報部管轄でホームページの見直しを予算取りも含めて検討していく。統一形式にならない場合は学術部門のページのみ独立して変更を進めていく。

・研修会案内フォーマットについて

石田学術部長より現行の定型フォーマットをより目につきやすいデザインへの変更の提案があった。

→石田学術部長が作成したフォーマットを使用していく。旧フォーマットとの混在は可とする。使用して意見が出れば石田学術部長へ報告。

以 上

署名人 _____ 石田 秀和



署名人 _____ 大村 将希

